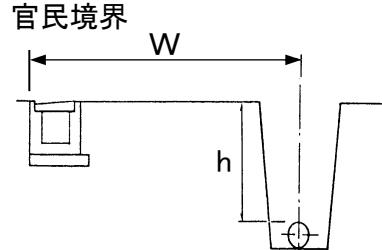
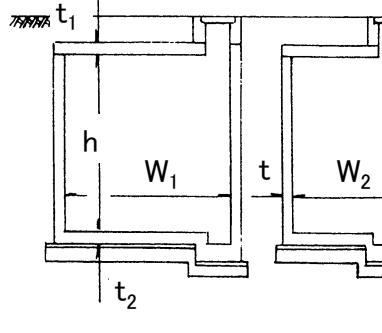
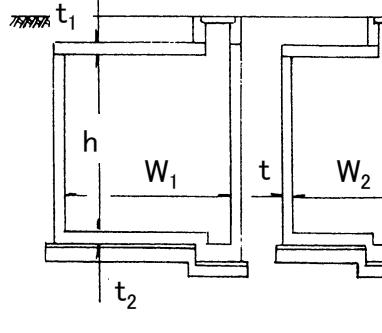
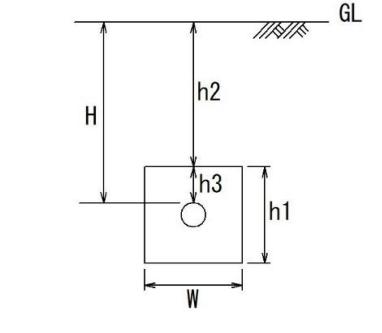


出来形管理基準及び規格値

【管布設工事】

※管布設工事において、次表の工種に記載のない場合は、土木・構造物工事の工種を使用すること。

単位：mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要			
管の据付	延長 L (単位：m)	±0	●旗上げ毎の区間長（整数止めとし、小数点以下切り捨て） ●出来形総括表及び設計平面図に実測値を記入（設計平面図には赤色）し、設計値と対比。（出来形管理図表は不要）					
	占用位置 W	±30	●40mまたは測点毎 ●土被りは、国の通達(H11.3.31付け建設省道政発第32号、建設省国発第5号)の値を下回ってはいけない。					
	土被り h	±30						
弁栓類・鉄蓋の据付 (土留類) (碎石基礎工)	仕切弁設置 (スピンドル位置)	センタ～±30	●全ヶ所測定 [路面復旧完了後]					
	消火栓(单口・双口)設置 (基準位置またはスピンドル位置)							
	空気弁付消火栓設置 (スピンドル位置)							
	空気弁設置							
	路面との段差	段差が無いこと	●全ヶ所測定					
	基 礎 辺長 (径)	設計値以上						
	基 礎 厚さ	-30						
弁室その他の構造物 (コンクリート) (碎石基礎工) (均しコンクリート)	壁 厚 t	-20	●全ヶ所測定					
	弁 室 (現 場 打) 床版厚 t1	-20						
	底版厚 t2	-20						
	内空幅 W1, W2	-30						
	内空高 h	±30						
	基 礎 辺長	設計値以上						
	基 礎 厚さ	-30						
管防護工 (コンクリート) (碎石基礎工) (均しコンクリート)	幅 W	-30	●全ヶ所測定 ●体積は設計値以上とする。		<p>※hが設計値より小さい場合は、コンクリートの大きさについて発注者に確認すること。</p>			
	高さ h1							
	辺長							
	土被り h2	-20						
	管天～防コン天端 h3							
	基 礎 辺長							
	基 礎 厚さ	-30						
推進工	基準高	±30	●発進坑、到達坑で測定。					
	中心線の偏位	左右±50	●20m毎に測定。推進延長が20m以下の場合は、任意で2ヶ所測定。					
	管底高	±50	●20m毎に測定。推進延長が20m以下の場合は、両端で測定。					
シールド工(一次覆工)	管底高	±50	●5リンク毎に測定。					
	中心線の偏位	左右±100						